

【海外】「奨学金継続願」記入例

「奨学金継続願」の記入にあたって、特に注意が必要な点について記載しています。
必ず、記入例を確認しながら、記入をしてください。

1. 赤枠 6 項目は、「あなたの奨学金個人データ」から転記

赤枠の6項目は、あなたの奨学金データになります。国内連絡者宛てに郵送している「奨学金継続願」下段の黄色枠内にある「あなたの奨学金個人データ」から該当項目をそのまま転記してください。

○照会番号 (※1) ○奨学生番号 (※2) ○氏名 (※3) ○設問4-1 (b) (※4) ○設問4-2 (7) (※5) ○設問9-3 (※6)

ホームページからダウンロードした「奨学金継続願」を使用する場合も同様に転記します。

「あなたの奨学金個人データ」から以下の6項目を 転記 します。

- OP.1 照会番号(※1)
- OP.1 奨学生番号(※2)
- OP.1 氏名(※3)
- OP.2 設問 4-1(b)(※4)
- OP.2 設問 4-2(7)(※5)
- OP.3 設問 9-3(※6)

2. 国内連絡者の現住所

本書類が届いた住所から、国内連絡者の住所が変更されていませんか。変更しているにもかかわらず、「住所変更届」が未提出の場合は、機構ホームページから様式を取得し、速やかに提出をお願いします。

「住所変更届」の提出が必要です。※

※ 「【海外】住所変更届」様式ホームページ

https://www.jasso.go.jp/shogakukin/saiyochu/kaigai/kaigai_2shu.html

3. 経済状況 4-1【あなたの収入】

経済状況【あなたの収入】には、2022年12月から2023年11月までの期間内に生じた収入について記入します。1万円未満は切り捨てて記入してください。

設問 4-1. 【あなたの収入】あなたの前年度12月から今年度11月の収入に関する金額を記入してください。
(2023年1月以降に奨学金の貸与を開始した場合は、貸与開始年月から11月の収入金額を記入してください。)

※1万円未満切り捨て

(a) 家庭からの給付 (両親等からの仕送り、家庭が支払った授業料・家賃含む)	225	万円
(b) 日本学生支援機構の奨学金 (貸与部通知書に記載の振込額の合計)	144	万円 (※4) 転記してください
(c) 日本学生支援機構の給付奨学金、日本学生支援機構以外の奨学金	0	万円
(d) アルバイト等収入	0	万円
(e) 配偶者の定職収入 (大学院在籍者で定職収入のある配偶者がいる場合のみ記入)	0	万円
(f) その他 (貯蓄等を取崩した額や臨時収入等)	36	万円
収入合計(A) : (a)+ (b)+ (c)+ (d)+ (e) + (f)	405	万円

(b) 「あなたの奨学金個人データ」から転記します。

(c) 「海外留学支援制度」の給付奨学金を受けている場合は計上してください。

収支差 : 収入合計 (A) - 支出合計 (B) が0以上となるよう記入してください。

4. 経済状況 4-2【あなたの支出】

経済状況【あなたの支出】には、2022年12月から2023年11月までの期間内に生じた支出について記入します。1万円未満は切り捨てて記入してください。

設問 4-2. 【あなたの支出】あなたの前年度12月から今年度11月の支出に関する金額を記入してください。
(2023年1月以降に奨学金の貸与を開始した場合は、貸与開始年月から11月の支出金額を記入してください。)

※1万円未満切り捨て

(1) 学費 (授業料・施設費などの学校納付金等を含む。)	310	万円
(2) 修学費 (教科書、図書費、文具購入費、課外活動費、通学費等を含む。)	30	万円
(3) 家賃 (共益費等を含む。敷金礼金等の特別支出を除く。)	0	万円
(4) 食費	24	万円
(5) 光熱水料通信費 (携帯電話等の通信費を含む。)	9	万円
(6) その他 (医療費、娯楽・嗜好費等)	24	万円
(7) 機関保証制度の保証料	7	万円 (※5) 転記してください
支出合計(B) : (1)+ (2)+ (3)+ (4)+ (5)+ (6)+ (7)	404	万円
収支差 (≧0) : 収入合計(A) - 支出合計(B)	1	万円

(1)学費について
2022年12月から2023年11月までの間に2023年12月以降の学費も支払った場合は、その金額を「(1)学費」に計上してください。また、学費に相当する金額を、【あなたの収入】の「(a)家庭からの給付」にも計上してください。

(7) 「あなたの奨学金個人データ」から転記します。

収支差 : 収入合計 (A) - 支出合計 (B) が0以上となるよう記入してください。

5. 卒業予定年月 9-1、9-2、9-3

「在籍証明書」に卒業予定年月の記載がない場合、または卒業予定学期 (セメスター) の記載となっている場合には、アカデミックカレンダー (学事暦) で確認できる「最終授業/試験月」を卒業予定年月としてください。

設問 9-1. 「在籍証明書」の卒業予定期について、あてはまるものを選択してください。

ア. 「在籍証明書」に卒業予定年月の記載あり

イ. 「在籍証明書」に卒業予定年月の記載なし、又は卒業予定学期 (セメスター) の記載あり

イ

設問 9-2. 卒業予定年月を記入してください。

9-1がアの場合→ 「在籍証明書」に記載の卒業予定年月を記入してください

イの場合→ 学校担当者や相談のうえ決定した卒業予定年月 (最終授業/試験が行われる年月) を記入してください

卒業予定年月	2024	年	6	月
--------	------	---	---	---

設問 9-3. 上記の卒業予定年月とあなたの奨学金貸与終期の一致状況について確認してください。(※6) 転記してください

あなたの奨学金貸与終期	2024	年	6	月
-------------	------	---	---	---

アカデミックカレンダー (学事暦) で確認できる「最終授業/試験月」を、卒業予定年月としてください。

(9-3) 「あなたの奨学金個人データ」から転記します。